東京都足立都税事務所長賞

「税を身近に感じた日」

足立区立花畑北中学校

一年 瀬浪 征真

僕は今まで、税金についてあまり深く考えた事はなかったです。僕にとって税金といえはたまにコンビニでおかしを買う時に300円分買えば330円支払わなければならないといった程度のものでした。少額であれば大した事はないけれど、大きな買い物をすれば負担になるのであまり良いイメージは無かったと言えます。しかし僕は夏休みの間に椎間板ヘルニアになってしまいました。この事で僕の税へのイメージは少しずつ変化していくことになりました。

まず僕は、病院でMRI検査を受け、確定診断をしました。家に帰り、ふとテーブルの上の明細書に目をやると内訳が書いてありました。MRI撮影一万四千五百円、再診料七百五十円、明細発行十円、外来管理加算五百二十円、計四点二万二百八十円でした。それでも支払い額は0円でした。保険証とマル子医療証を出しているからです。そして今現在リハビリに通っています。ここでも明細書を見てみたら、細かく点数記載があり四点の合計は七千四百六十円でした。もちろんリハビリは一度では終わらず、痛みがひくまで通い、痛みがひいた後も再発予防のために通います。もしも国民健康保険証や医療証が無ければかなりの金額を使うことになります。そう考えたときに保険の大切さや医療証のありがたさに気づきました。まだ若い僕にはあまり関係無いと思っ

ていた税金が非常に身近に感じる出来事でした。この事で他にどのようなことに税金が使われているのか気になったので調べてみました。その中で自分にとって身近に感じたものがありました。それは東京都の私立高校の授業料無償化です。令和六年度より年収制限が撤廃され、全ての世帯に私立高校授業料四十八万四千元まで助成され、多くの高校で授業料無償化となりました。この取り組みで今まで私立高校をあきらめていた沢山の家庭が私立高校を視野に入れる事ができるようになりました。僕は硬式野球をやっていて、近場の都立高校ではあまり硬式野球部が無いので硬式野球部のある私立高校を視野に入れる事ができるようになりました。これは僕にとってすごく可能性が広がる大きなことです。この事で僕は東京都に住んでいて良かったと思いました。他にも東京都では塾代助成制度というものがあります。これは中学3年生・高校3年生がいて一定所得以下を対象に塾代を貸付けてくれる制度です。そして志望校に合格した場合申請すれば返済が免除されるシステムです。すばらしい取り組みだと思います。このように僕たち子供にとってためになる税金の使われ方があることを知りました。もっとこのような取り組みが増えたら僕たち子供の未来が広がると思います。

明日から僕が買い物をするときに支払う消費税は、きっと少しほこらしい気持ちで支払う事ができるようになっていると思います。